

330-A地区臨時第1回キャビネット会議「議事録」

【2008年1月22日（火）東京プリンスホテル】

I. 開会

大内幹事より、330-A地区2007～2008年度臨時第1回キャビネット会議の開会宣言が行われた。

II. 出席者の紹介

河島賢一副幹事より本日出席の地区役員の紹介が行われた。引き続きキャビネット構成員97名のうち、欠席構成員9名、出席構成員88名であり、構成員の過半数以上の出席者により、この会議が成立したことが報告された。なお、構成員以外の出席メンバーは226名であった。

III.-1 地区ガバナー挨拶

飯田善彦地区ガバナーより挨拶があった。

III.-2 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶

森山勇前地区ガバナーより挨拶があった。

III.-3 副地区ガバナー挨拶

石井征二副地区ガバナーより挨拶があった。

IV. 配布資料の説明

湯田啓一副幹事から配布資料の説明および差し替え・削除についての要請があった。

V. 臨時第1回キャビネット会議・議長の選出

臨時第1回キャビネット会議の議長は国際会則附則第6条・第5項(a)に、地区ガバナーが議長職務を行うと明記されていることおよび複合地区会則第16条の規定の趣旨から飯田ガバナーが議長に就任した。

VI. 議事録署名人指名

飯田ガバナーより、議事録署名人として第10リジョン・チェアパーソンL兼益保夫、第1リジョン第3ゾーン・チェアパーソンL小原祐一が指名された。

アワード贈呈式

報告事項に先立ち以下の2件に対し森山勇前地区ガバナーより贈呈を行った。

1. アショク・メーカー 前年度LCIF理事長より、前年度LCIF委員会委員長L嶋崎喜一に対し、その功績を讃え表彰状の贈呈。
2. 昨年度の国際会長プログラムである、ダイヤモンド・チャレンジ（会員数2名以上の純増）を達成した、昨年度のクラブ会長に対し、ジミーロス前国際会長よりのアワードとしてダイヤモンドピンの贈呈。（対象クラブは資料集①の34頁記載）立川ライオンズクラブのL立河忠司及び国立ライオンズクラブのL平山和克に対するダイヤモンドピンを、第13リジョン・第1ゾーンのL小倉ゾーン・チェアパーソンが代理として受領した。

Ⅶ. 報告事項

一般事項に関しては大内キャビネット幹事より、会計に関しては太田キャビネット会計より報告が行われた。

報告に先立ち、大内キャビネット幹事より、臨時キャビネット会議後のガバナー諮問委員会が開催されないゾーンもあるとのことであるが、臨時とはいえ、決議事項や重要報告もあるので必ず開催すべく要請がなされた。

1. 330-A地区全般に関する事項

(1) ライオンズの現勢

資料集①の1頁記載のとおり。

(2) 各種行事に関する事項

ア. 本年度主要行事に関する事項

本年度下半期の主要行事については、資料集①の2頁記載のとおりである。

第3回キャビネット会議は3月17日、国際大会はタイ、バンコクで、本年6月23日から27日まで、OSEALフォーラムは10月13日であり、また、年次大会は4月19日である。

さらに、後刻説明予定の年次大会記念アクティビティである、視覚障害者の視覚障害者による視覚障害者のためのコンサートは4月15日になっている。

イ. 新クラブの結成・チャーターナイト

本件については昨年度の中央南ライオンズクラブ以来ない。

ウ. 周年行事 資料集①の3頁記載の通り

エ. その他 特になし。

(3) 2007年12月9日（世界障害者デー）のCSFⅡ募金及び献血の報告

まず多くのクラブとメンバーの参加に対し謝意を表し、詳細は資料集①の4頁に記載されている旨説明された。

12月9日の参加クラブは145であり、資料の中で空白のクラブについては、募金や献血活動を行わなかったのではなく、年間行事として他の日にアクティビティを行い、12月9日には行わなかったケースもあり、また募金は行わなかったが、国際会長の方針に沿い目立った奉仕活動をして、ライオンズクラブの存在を社会に周知させるためにPR活動を行ったクラブもあったので、これを理解をされたいと説明があった。

(4) チャリティ観劇会の報告（2008年1月8日）

現在集計中であるが1000人以上の参加があった。詳細は、後ほど担当委員長より報告される。

(5) 地区名誉顧問に関する事項

前回キャビネット会議後の開催はなかった。

(6) リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン全般に関する事項

リジョン・チェアパーソンに関しては伊賀第1リジョン・チェアパーソンが遅参のため大内幹事より以下の報告を行った。

前回のキャビネット会議報告後、各クラブに対する伝達について協力され、また、12月9日の募金活動、1月8日の明治座観劇会についても尽力をいただいた。

ゾーン・チェアパーソンに関しては 鈴木智子第6リジョン・第2ゾーン・チェアパーソンより以下の報告があった

8月27日、11月15日、12月6日及び1月19日にゾーン・チェアパーソン会議が開催された。今期最大の目標のCSFⅡについては、過去不甲斐ない成績であったが、330-A地区は全国で現在10何位かになったとの報告を嬉しく思っている。10月8日、12月9日、1月8日も皆さんには頑張っていた。また、4月15日のチャリティコンサートも協力して成功させたいと考えている。

(7) 各委員会全般に関する事項

政策・会則・長期計画委員長 L野崎武

各委員会については第2回キャビネット会議より間がないうえ、年末及び年始を挟み時間的余裕がないため活発とは言えないが、半分以上の委員会が開催されている。

本日の資料のように20件近い報告及び提出案件があるので、よろしく願いしたとの発言があった。

(8) 会計に関する事項

太田キャビネット会計より以下の報告がなされた。

ア. 2007年7月1日(日)新キャビネット発足より現在迄の会計状況の報告資料訂正(議案集内日付2007年1月1日を2007年7月1日に訂正)

本件についての記載は資料集①の5頁の通り。

イ. ドルのレートについて

1月の1ドルのレートは1ドル⇒114円

ウ. クラブからの地区会費、地区大会費の入金状況

各クラブからの上期地区会費、地区大会費の入金状況については資料集①の6頁のとおり。上半期の地区会費については、全クラブより振り込みがあったことに感謝する。

なお、1月末に送付する下半期の請求書が届き次第速やかに振り込みを行うよう各クラブへの指導を要請された。

エ. 各義援金、協力金、協賛金

本件については第3回キャビネット会議にて改めて報告する。

なお、YE・クエスト協賛金は現在3,744千円である。

(9) 次期地区ガバナー及び副地区ガバナー選出に関する事項

次期地区ガバナー及び副地区ガバナー選出に関する事項については、同様の題目で後ほどの協議事項に入っているのでここでは省略。

(10) 330-A地区年次大会に関する事項

資料集②の1頁から11頁まで

ア. 大会行事日程

本年4月19日 場所はプリンスホテル

イ. 準備会関係

現在準備中である。

ウ. 議事運営・各委員会・各分科会別・委員長・副委員長・顧問による勉強会

全体会議等現在準備中である。

エ. 記念アクティビティ(ハンディキャップコンサートについて)

本件は都合により当初の2月9日から4月15日に日延べとなった。

330-A地区としては、視覚障害者や社会一般に、ライオンズクラブがこのような活動をしているのだということを年次大会の記念アクティビティコンサートによって示したいと思っている。

また、目が見えず暗闇の世界で生活している子供たちをできるだけ多くこのコンサートに招待し、視覚障害者のプロの演奏を聞いて自分たちも努力すればあのようにプロになれるんだという意味での明かりを、ライオンズクラブとして灯して行きたい。さらに、ミュージシャンの卵である、芸術大学の盲人の学生たちに演奏の場を与え、彼らの将来のためバックアップしたい。

そのような目的で視力障害者の、視力障害者による、視力障害者のためのコンサートを実施し、参加の方には必ず感動のお土産持って帰れるような企画を考えているので、1クラブ10枚以上の購入をお願いしたい。とのガバナーから説明と協力の依頼があった。

(11) 330-A地区年次大会「ガバナーズ・アワード」に関する事項

ア. ガバナーズ・アワード表彰内容

資料集②の17頁から。この決定については第2回キャビネット会議においてガバナーと政策会則委員長に一任ということになっている。

イ. 申請及び審査

以下については、各クラブ送付済みであるがリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンには送付していないので、この場で説明。

①各クラブよりゾーン・チェアパーソンへの提出期限は

2008年2月8日(金)

②ゾーン・チェアパーソンからリジョン・チェアパーソンへの提出期限は

2008年2月14日(木)

③リジョン・チェアパーソンからキャビネット事務局への提出期限は

2008年2月19日(火)

④委員長を中心とした各委員会別による第一次審査

2008年2月25日(月)

⑤ガバナー、幹事団による最終審査は、議案集では3月4日となっているが

2008年3月3日(月) 同様にキャビネット事務局にて行うが、日にちの訂正を要請。

ウ. 報告及び表彰方法

報告及び表彰方法については

① 2008年3月17日(月)開催の第3回キャビネット会議に於いて報告

② 2008年4月19日(土)開催の第54回年次大会で表彰を行う。

(12) その他

特になし

2. 330複合地区全般に関する事項

(1) 330複合地区ガバナー協議会関係

内容については、以下の各項目により説明する。

(2) 複合地区連絡会議規定について

資料集①の7頁のとおりであり、旅費の負担方法等について、330複合地区において検討中である。

(3) 330複合地区第54回年次大会

資料集①の2頁のとおり。

ホスト地区 330-B地区

開催日 2008年5月11日(日)

開催場所 横浜ロイヤルパークホテル

(4) 年次大会実行委員会・副部長会

実行委員会・副部長会を来る2月1日に行うことになっている。

なお、記載にはないが既報のように複合地区のエクステンションセミナーが同日開催されることになっており、A地区は割り当て50人のところ現在約20名である。委員長はA地区所属であり、参加人員が少ないとA地区の名誉にもかかわる。今からでもよいので申し込みをお待ちする。

(5) 330複合地区ガバナー協議会第2回全体会議要録

資料集①の8頁のとおり。特に強調して説明すべき点はない。

3. 全日本レベルに関する事項（日本ライオンズ連絡事務所）

(1) 複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第5回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録は、資料集①の11頁～13頁記載のとおり。

(2) 複合地区委員長連絡会議関係

第2回会則委員長連絡会議要録は資料集、①の14頁～17頁

第2回と第3回Y E委員長連絡会議要録は資料集①の18頁～26頁

第1回ライオンズクエスト委員長連絡会議要録は、資料集①の29頁～30頁

第2回日本ライオンズ事務所管理委員会会議要録は、資料集①の27頁28頁に各々記載してある。

(3) その他

特になし

4. ライオン誌日本語版事務所に関する事項

現時点では特に報告すべき事項はない

5. 国際協会に関する事項

(1) 国際理事関係

特になし

(2) C S F II地区拠出金累計等について

C S F II地区拠出金累計等については、11月現在については資料集①の36頁～41頁として添付してあるので一読を。なお、現在の進行状況については山浦C S F IIナショナルコーディネーターより以下の報告がなされた。

3年の期間の最終年で各クラブ頑張っていた。12月19日現在で83.8% 70クラブが目標あるいは1人当たり500ドル達成、内7クラブが1000ドル達成し、ブルーフラッグ贈与の対象になっているが、60クラブは関心が薄く達成率が低い状態のままである。

キャビネット会議後の諮問委員会で、ゾーン・チェアパーソンから各クラブに目標達成のための指示をお願いしたい。

(3) その他

特になし

休憩前に遅参した元地区ガバナー2名の紹介

元地区ガバナー名誉顧問 L 富田純明

元地区ガバナー名誉顧問 L 吉永貞雄

— 15分の休憩 —

VIII. 議事

1. 協議事項（ガバナー提出案件）

(1) 家族会員地区会費に関する事項

国際会費については国際会則により、軽減措置がとられる。そこで地区会費は、年次大会の決定事項になっているが、多くの地区が軽減措置をキャビネット会議で決定・実施している。330-Aとしても、キャビネット会議において本年度からの実施を決議し、年次大会において追認をもらうことにしたい。

現在、330-Aの地区費は、クラブ毎に3000円、および1メンバーあたりは、議案集3ページ記載の金額を支払うことになっているが、1メンバーあたりの地区費国際会費と同様に2人以降の家族会員は、正会員(同一クラブ所属の1人目の家族会員)の2分の1とする

— 賛成多数で承認された —

(2) 330-A地区第54回年次大会関係

① 大会議事規則

資料集②の25頁以下に記載 例年とほとんど変わりはない。

本件は第2回のキャビネット会議に上程されたが、年次大会の準備の都合上本キャビネット会議での承認が必要である。

— 賛成多数で承認された —

② その他

特になし

(3) 次期副地区ガバナー選挙に関する事項

①次期地区ガバナー及び副地区ガバナー選挙に関する件

資料集②の27頁記載の通り、届出が3月6日 資格審査日は3月10日(月) 公示日 3月17日 選挙期間は3月18日から4月18日までとする。立ち会い演説の日程は未定。本選挙日は年次大会の当日4月19日とし、所信表明等は行わず投票だけの方針である。

規定関係については資料集②の28頁から32頁に副地区ガバナー選挙に関する規定と細則が記載されている。本件については選挙制度検討委員会から詳細な答申が届いているが、要は選挙管理委員会が公正に業務を遂行して、投票、開票も透明性を保って実施して欲しいということであり、キャビネットとしては運用面で、例えば、開票の立会人を増やすとかして公平性を保つようにすれば選挙に関する規定の変更は必要ないと考えている。

②代議員会および選挙に関する事項

資料集②の33頁から35頁に記載でほぼ例年通りであるが選挙制度検討委員会の要望を入れて投票開票が開票が中立、公正に行われるよう、例えば、投票場所、開票場所の特定区分した場所で見たい人は見てもよい、が付加されている程度である。

— ①②—括賛成多数で承認された —

(4) 330複合地区関係

特になし

(5) 全日本レベル関係(日本ライオンズ事務所関係)

特になし

(6) ライオン誌日本語版事務所関係

特になし

(7) 国際協会関係

特になし

2. 各位よりの提出案件及び報告事項

大内幹事より提出案件についての補足説明。

各位からの提出案件についての説明順序を出来る限り委員会順にしたいと考えていたが、出席者に速やかに議案集を送付する為に提出案件のキャビネット到着順番の編綴になって、委員会の順になっていない事を了解願いたい。

(1) 指導力育成委員会報告 委員長 L吉沢隆志 別紙報告書 1頁

メンバーズマニュアルについての説明と購入依頼

次期3役セミナーは6月3日の予定 後日案内送付予定

指導力育成セミナーおよびその他についても委員長報告書に記載のとおり。

(2) 会員増強委員会報告・提出案件 委員長 L曾根原良仁

-A 報告 別紙報告書 2頁

-B 提出案件 1. 会員増強月間の完全実施のお願い 別紙報告書 3頁

大内幹事より本件は前回キャビネット会議で決定済であるので本日決議審議の必要はないとの説明があった。

提出案件 2. 330複合地区新入会員交流フェスティバルの実施について

3月11日18時30分より新宿京王プラザホテルで実施。

330A地区から最低200名の出席要請がある。各クラブ協力して出席者200名を目指す。

— 賛成多数で承認された —

(3) LCIF・CSFⅡ-特別委員会報告 委員長 L姉川啓一

別紙報告書 6頁

★ 1. CSFⅡ街頭募金活動について

★ 2. CSFⅡ献金状況について

★ 3. CSFⅡチャリティ観劇会(明治座公演)について

スタートから3ヶ月弱で約1000人の参加者を得られたとの報告および委員会のメンバー、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、またクラブ役員の協力に対する感謝の意の表明

(ガバナーより) 10月8日の街頭募金活動は135クラブ、12月9日は145クラブの参加があったとの報告。

(4) IT 委員会報告 委員長 L藤村貞夫

別紙報告書 7頁のとおり

以下につき資料に従い説明報告

1. クラブ及び会員情報の管理

2. クラブインデックスページの作成

2. クラブホームページ作成のセミナー

・次の委員会報告に先立ちPR・情報委員会 鶴ヶ谷正司委員長よりライオンズ

ニュースについて以下の説明と発行に対する協力にお礼の発言があった。

今回は第1回であり、CSFⅡ関係を初めとして青少年育成、社会福祉、献血奉仕薬物乱用、周年行事等を掲載している。3月と6月にも発行し、今期は3回とする。掲載のための文章と写真の提供をお願いする。

ニュースは全メンバーに配布済みで、まだ500部以上の余裕があるので会員増強、エクステンション等外部への発信のためにも利用をお願いする。

(5) 社会福祉委員会報告 委員長 L木島庄市

別紙報告書 8頁のとおり

裏面に災害時の心得を印刷した身障者用主要駅トイレマップを作成中、利用希望があればクラブの名前も入れられるようになっているので、自クラブ名を入れて配ったり、各家庭に一部常備し、災害時の備えにしてほしい。

次に知的障害者に対しては今まで金銭奉仕、労力奉仕を行ってきたが、雇用については難しい面もあるが、われわれライオンズクラブのメンバーとしてはそのような者を雇うということが必要である。そのための分かりやすい手引きになるものを作成中で3月には完成予定である。

(6) ライオンズカード推進委員会報告及び審議事項 委員長 L 芦田 公
別紙報告書 8頁

(ガバナーより本件についての説明)

山浦キャビネット期に於いて、カードに関する収益金の半分は各クラブに還元、残りを中間法人の返済資金に充てる 事になっていた。しかし次期のキャビネットではその通りに実行されなかったので再度精査し、第3回キャビネット会議に上程したい。

「海の森」については単年度ではなく長期に亘るものであるので第3回キャビネット会議を経て年次大会に向かうべく、委員長には進めていただくことを要請し、ここではカード委員会の現状説明をお願いしたい

1. ライオンズカード(個人・法人)のカード会社からの還元金は全額各クラブに加入者数に応じて分配することを提案する。

(芦田委員長)

本日、入会の仮申込書を配布しました。正式申し込みには法人の場合は謄本、個人も印鑑が必要なため、カード会社に依頼し簡単に手続きできるようにしたものです。

ライオンズカード推進委員会の最大の目的は、ビザ・ゴールドカードの加入者をいかにして増やすかであり、「海の森」や金銭的な処理などについては、カード加入者が増えた場合、どんなメリットがあるか理解してもらうために掲げた旗印のようのものであるので、あとはキャビネットで検討してもらうべきであり、今肝心な事はここで仮の申込書に記入してもらうものであるので協力をお願いしたい。

先程の申込用紙の回収時に、自分は既にこのカードは持っているとの指摘を受けましたが、昨年10月ニコスカードより、ガバナー及び委員長あてに契約解除の通知が来ているので1年程で使用できなくなる。またビザ会費は通常1万円から2万円であるが、特別に8400円であり、初年度は内2000円がライオンズに還元される。いずれにしろ皆さんの入会によりライオンズクラブ全体も皆さんのクラブも利益を得ることになる、是非加入していただきたい。

2. 330-A地区全体のアクティビティとして「海の森」公園の造園・協働奉仕活動を実行することを提案する。

— ガバナー発言により継続審議とする —

(7) エクステンション委員会報告 委員長 L 小島清隆

別紙報告書 10頁のとおり

報告事項1. ～3. に従い報告・説明

会員増強は足腰を強くし、エクステンションは子供を生むとことだと理解している。資料集①-33頁の情報募集のお願いを各クラブ会長に配布してあるが本日出席しているリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンには諮問委員会の席で新しいクラブが結成されるようバックアップしていただくとともに、情報提供をお願いしたい。最後に2月1日の複合セミナーには改めて多くのメンバーの参加をお願いする。

(8) 環境保全委員会報告 風間昭委員長欠席のため渡辺三男副委員長報告

別紙報告書他 11頁～15頁に詳細は記載

第1回のキャビネット会議で承認済みの第4回環境リーダー養成講座を、3月11日に実施する。場所は国立オリンピック青少年センター。案内は既に各クラブに配布済みであるが、諮問委員会でゾーン・チェアパーソンから再度参加要請をしていただきたい。環境保全に関係する行政機関及びNPOのリストを各クラブに紹介すべく作業中、また環境の講師についてもリストの配布を検討中である。

ご承知のごとく京都議定書が今年から5年間に亘り、先進国で温室効果ガス排出削減の実行の年になるからです。日本は現在6%削減目標に対し6.4%の増加で12%削減しないと約束を果たせないことになっている。そのようなわけで今年 は地球社会にとって非常に重要な環境の年であると認識している

(9) 薬物乱用防止委員会 委員長 L黒田幹雄

別紙報告書 16頁～17頁

16頁⑥ 日付 11月14日を12月14日に訂正

16頁①より⑦ 実行行事報告の説明。

16頁①より⑥ 行事予定報告 特に⑥薬物乱用防止教育認定講師レベルアップセミナーが委員会の大きなテーマとなっている。クラブには案内を送付するのでできるだけ多くの参加をお願いする。

(10) 献血・エイズ委員会 委員長 L石田 健

別紙報告書 18頁のとおり

2月4日に他の委員会と一緒に献血に関する講演会を実施すべく検討中、まだ委員会に諮っていないので詳細は未定であるが、1月中には決定する。

(11) 献眼・献腎・骨髄移植委員会報告及び提出案件 委員長 L水上 良文

別紙報告書 19頁～20頁のとおり

委員会最大のイベントであるアイバンク認定サポーター養成講座が昨年11月9日に実施され、A地区の参加は64名であった。現在A地区のサポーターは272名で330地区では最も多く、今回の認定でさらに人数が増える。忙しい中参加いただき感謝申し上げます。

330複合地区ガバナー協議会主催の研修会は19頁2.の通り。

1. 協議事項

献眼活動の重要性を啓発し、献眼登録するようライオンズクラブ全メンバーに対し、呼びかけをお願いしたい。

2. 協議事項

献眼・献腎・骨髄移植委員会の事業を行うための予算を確保したい。

3. 協議事項

献眼・献腎・骨髄移植委員会の任命については、半数は再任、半数は新任とされるよう配慮願いたい。

(ガバナー発言)

皆様ご承知のように、ニューヨークのアイバンクもライオンズがかかわっており日本の場合も立ち上げはライオンズのメンバーによっておこなわれているのでライオンズとして皆様のさらなる協力をお願いします。

予算計上の件に関しては次期ガバナーに考慮をお願いして、委員長の意見を参考にし、次年度組み立てていただくということで委員長には了解をいただきたい。

(委員長より補足説明)

池崎元ガバナーの話によると、宮家で獣眼の登録をなさった方がいるとのことである。宮家の方が率先していただくことは大変ありがたいことである。

皆様もメンバーだけでなく一般の方にも勧めていただきたい。

(12) 大会参加委員会報告 委員長 L斎藤 嘉全

別紙報告書 21頁のとおり

資料訂正 第19回ライオンズ国際大会を第91回ライオンズ国際大会に
国際大会日程

2008年6月23日から27日 タイ・バンコク

24日 16時より パレード

25日 開会式 18時よりガバナー晩餐会 場所未定

27日 7時より10時まで代議員投票

10時より閉会式

詳細は既に決定しているので後日皆様にはお知らせする。

過去 各クラブに代議員派遣の案内はしていたが、今回は各クラブ毎に何人お願いするという形で要請を行うので皆さんからも、代議員何人派遣するか報告をしていただきたい。

キャビネット会議後諮問委員会が行われているが、われわれ大会参加委員会だけで人数の確保は困難である。リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンから各地区で参加の勧誘をしていただきたい。また大会参加のための旅行社の選択は自由にさせていただいて、クラブ独自、および個人参加のすべての方が大会登録、代議員投票、ガバナー晩餐会出席を最低の条件とさせていただきますので、タイ・バンコクでの国際大会に1人でも多くの方が参加していただくようお願い致します。

(13) 国際協調委員会報告 委員長 L高麗 伸三

別紙報告書 22頁のとおり

世界的、国内的にライオンズの状況が低下ぎみであるので、そのために国際協調の面が影響を受けている。

今後 具体的には、飯田ガバナーの基本方針であった、諸外国のライオンズとの友好関係の推進を進め、国際会長の来日の際には複合地区の委員会と協調し迎えて欲しい。

もともとわれわれ委員会としては、皆様のクラブが本当に海外のクラブと友好関係を結びたいのかどうかから始まったのである。しかしながらその実現は大変難しいというのが結論ある。前期友好関係を結びたいとの希望を持っているクラブの意志を再確認したところ、残念ながら8クラブのうち5クラブが否定的であった。

希望を述べるのは簡単であるが実際にはこの厳しい情勢の中で、外国のライオンズクラブと姉妹提携等の友好関係を結ぶのは非常に難しいと認識した。自クラブと相手クラブとの条件の一致等の困難さを考えずに、アンケート等を配布・収集することは簡単であるが、意味がないことを実感し、安易に考えていたと反省もしている。

以下報告書に従い報告

(14) YE委員会報告 委員長 L島田 益吉

別紙報告書 23頁24頁のとおり

別紙報告書 23頁 4.活動状況 ① 各地区YE計画についてのアンケート回収率41.9% ◎参加する 11クラブ 以外に協賛金参加もある。

参加の11クラブは協賛金とは別に参加ということであるが、PR不足が考えられるので冊子の配布をおこなった。

以下 ③ 来日生の状況 説明

今後の予定 3～4月 タイより20～25名 来日
7～8月 ヨーロッパ、および米国より約20名 来日

24頁「第4回 青少年英語スピーチコンテスト」について

昨年はYE委員会で開催、一昨年は青少年育成委員会で開催した。本年はどうしても我々YE委員会で行いたいと希望しました。

その大きな理由は過去に3回東京都知事賞を受賞しているが、一度でも途切れるともう受賞できなくなる恐れがあるので継続したいこと。

YEの予算内で5月中旬に行うのでご協力を。

(15) 中間法人連携委員会報告(審議事項) 委員長 L池田 和司

別紙報告書 25頁のとおり

キャビネットの一般会計(2006～2007年度)の貸借対照表・財産目録の欄に「出資金3,000,000円」との記載が2ヶ所あるが、これは誤記であり、正しくは「貸付金3,000,000円」であるから、訂正すべきである。

中間法人皆様には耳慣れない言葉であるが、これは飯田ガバナーの時に初めてできたもので、どのようなことを行うのかというと、平成17年に「中間法人330-A地区支援委員会」という法人を作りまして、新宿に区分所有権の建物を取得しましたが、これはキャビネット事務局の経費節減という大目的のためになされたことであり、この3年間大変効果を挙げた。本来高い賃料を払うべきところを、月40万という従来の40%程度の安い賃料でキャビネット事務局が借りられるという状況にあります。

しかしながら、作ったときに大変時間が少なかった為に3年経ってみると、キャビネットとこの支援委員会との間に、いくつか整合を求められる問題が出てきました。そのためにこの委員会ではできませんでした。

そのひとつの問題として、資料25頁にあるように、キャビネットの一般会計の貸借対照表・財産目録の欄に「出資金3,000,000円」と記載が2ヶ所あるのが、これは正しくは「貸付金3,000,000円」ではないかというのが委員会の結論である。出資金ではなく、貸付金に訂正したらいかなものだろうかというのが今回の提案の主旨である。

そのため、今月19日にはキャビネット幹事団と委員長会の中で、本日のキャビネット会議に向けた議題のすり合わせのための会議で、この問題について私から説明をしたのであるが、なに分にも時間が短かったし、外郭団体との整合性の問題もあり、私の説明も不足だったためいまだ今日理解がなされていない状況にある。

そこで曾根原委員長から、この問題は拙速に結論を出すよりは、キャビネット3役を含みわれわれ委員会との間でさらに継続して協議を重ねたうえで決議を採った方がいいのではないかと提案があり、私もそれを了承致しました。従い本件は今日の審議事項として結論を求めるものではなく、継続審議として取り扱っていただきたい。

(ガバナー発言)

委員長の説明どおり、本件は継続審議として委員会とキャビネット幹事団の間ですり合わせさせていただきます。中間法人の問題にもまた資料をよく読んで熟知のうえ、ご意見があればキャビネットに寄せていただきたい。

— 継続審議として了承 —

(16) 事後処理特別委員会報告・審議事項 委員長 L脇村 孝友

報告書26頁～31頁にしたがって説明あり

報告書28頁 差替 29頁削除

26頁 報告事項 説明

審議・承認事項 1)・・・削除

27頁 「00～01三宅島支援物資協賛金の報告書」

事後処理委員会の見解・・・収支報告書も明確で問題ない。

30頁～31頁「事後処理特別委員会中間報告」

上記に記戦の内容を踏まえて、政策・会則・長期計画委員会で付議して頂き、次期から施行できるルール作りをお願いする。

(ガバナー発言)

それでは政策・会則・長期計画委員会とのすり合わせにより第3回のキャビネット会議における継続案件と言うことにさせて頂きたい。

————— 継続審議として承認 —————

(政策・会則委員長発言)

政策・会則がこれを検討する必要があるかないかについては、われわれはこれから委員会で検討をする。金銭処理の問題であるのでこの点についてはキャビネットに会計処理の細則があると思うのでそれに基づいて執行するのが当然である。政策・会則も収支報告書を検討してみるが、金銭の流れが非常に不明瞭であるのは事実である。

特に、金銭の流れについての29頁の内容は不明瞭で、お金がどこかに行ってしまったということなので政策・会則で検討する余地がない。これは会計処理の問題であり、時の会計監査の結果にも影響すると考えられる。

さらに30頁の協賛金に余剰が生じた場合は、期末に“愛の泉緊急災害援助資金”に移管すると書いてあるが、特別会計を組んだ場合あくまでもアクティビティの例をみると、植樹の剰余金があればこれは特別会計に残すのが基本であり“愛の泉”への移管は間違いがあるので、この点キャビネットでも良く検討していただきたい。

(17) 緊急対策委員会報告。審議事項 L委員長梶原正和

報告書32頁のとおり

東京消防庁認定『第6回上級救命士技能講習会』について

実施日：新規2008年3月25日午前8時45分集合～午後5時終了

更新2008年3月25日午後1時30分集合～午後5時終了

以下報告書記載 各クラブ案内済み

委員会では前回キャビネット会議で写真入りビラを配布したが、これは講習会内容や330複合地区事務所での贈呈式、柏崎への現地視察等を委員会で撮影したものを順を追って記載してある。

委員会では諮問事項の中で緊急災害マニュアルの作成にあたっている。これは複合地区や東京都からの書類、その他各所からのものも含め、総合的な資料を利用し、メンバー各位に活用してもらえることを目指して作業を進めているので次回キャビネット会議までにはできると思っている。ご意見や資料等があれば委員会に寄せて頂きたい。

(18) 選挙制度検討委員会報告 委員長L飯田 金広 別紙報告書33頁34頁

飯田金広委員長が欠席であり報告書通りであるので、熟読のうえ理解をお願いしたいとのガバナー発言により終了。

(19) クエスト青少年育成レオ委員会報告 委員長L橘 薫

別紙報告書・審議事項(追加)

クエストについてはこの期が始まる前に次期3役セミナーにおいてガバナーより маниフェストが出されている。これは今期国際プログラムであるからぜひ実行したいとの強い意向であると理解した。

私の調査によると、クエストは中島ガバナーの期あたりから注目を浴びるようになり、次期の山浦ガバナー期にクエスト検討委員会が設置され、さらに中村ガバナー期は推進委員会を設置、四大交付金申請をし、AとCの地区で10万ドルのお金をいただいた。これは2年半の資金で、昨年12月には終了しゼロとなった。この報告は当然LCIFにしてあるはず。そして、森山ガバナー期には中村ガバナーの行った事業を監視し、それが円滑に進むよう努めた。飯田ガバナーは今期はYEとクエストとが重要ということで協賛金の導入を目指しているが、昨年12月に切れたものと重なると申請できないため、本年1月に皆様の承認を得て四大交付金の申請をしたい。

以上クエストの歴史、現状、ライオンズクラブとのかかわり等説明。

1. 「LCIF四大交付金」助成申請の件
2. 「クエスト教育基金」の創設の件についての説明と審議の要請を行う。

(ガバナー)

審議事項1.と2.がありますが、とりあえず本日の臨時キャビネット会議では審議事項1.承認をいただきたい。これは第1回のキャビネット会議で私が皆様方に提案して150万円の話をしましたが、現在74万4千円集まっておりますが、各クラブのクエストに対する理解の結果です。前々期中村期にはA地区が250万の負担をしています。今期は各クラブからの資金100万円とJIYDの150万円、合計250万円でLCIFの申請をしたい。

クエストの今後の2年半の動きが決まって行く。クエスト問題は止めることができない、これからもライオンズクラブがずっとかかわって行かなければならないと考えている。すでに74万円余は集まり、ガバナーとしての責任もある。

LCIFの申請をご承認いただきたい。

————— 賛成多数で承認された —————

このあと、小坂哲瑯元ガバナーから下記1の事項の質問があり、橘薫委員長は下記2のとおり回答した。そして再度承認・決議された。

記1

(質問)

1. 本事業計画の経費が過大ではないか。
2. 本計画は、難しい教育問題であり、日本の教育制度に相応しないのではないか。
3. 資金の使途内容が明確に把握できない。

記2

(回答)

1. 経費を少なくするよう努めている。
2. 文部科学省では平成14年より「総合学習の時間」という科目がある。この時間にライオンズクエスト・プログラムが認められている。
3. 古いものはわかりませんが、直近のLCIF四大交付金申請し、承認いただいた予算の通り実施、その報告書並びに領収証で明確に確認出来る。

————— 賛成多数で承認された —————

IX. 今後のキャビネット会議予定 大内幹事より

1. 330 - A地区第3回キャビネット会議 (キャビネット構成員のみ)

日程 2008年3月17日 (月)

時間 14時00分～17時00分

場所 八王子京王プラザホテル

2. 330 - A地区第4回キャビネット会議

日程 2008年6月18日 (水)

時間 15時00分～17時00分

場所 東京プリンスホテル

X. 閉会

太田キャビネット会計より閉会の挨拶。

17時30分閉会した。

以上をもって臨時第1回キャビネット会議は閉会された。
会議の結果を明らかにするために、この議事録を作成し、議長および議事録署名人
は署名捺印をする。

2008年 2 年 6 日

議長・ガバナー

L 飯田善彦 

第 R リジョン・チェアパーソン

L 兼益保夫 

第 / R 第 3 Z ゾーン・チェアパーソン

L 小原祐一 